

令和6年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和5年度分)

大石田町教育委員会

## 目 次

I	大石田町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
	1. 制度の概要及び目的	1
	2. 点検・評価の対象事業	1
	3. 点検・評価の方法	1
	4. 学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	2
	1. 教育委員会の開催	2
	2. 教育委員会会議以外の活動	3
	4. 総合教育会議の開催	4
III	施策の体系	5
	1. 基本目標	5
	2. 基本的な方針	5
	3. 施策の展開方向	6
IV	点検・評価事業と評価方法	12
V	意見の集約	12
	大石田町教育方針「評価シート」集計表	25

# I 大石田町教育委員会事務事業の点検・評価について

## 1. 制度の概要及び目的

教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

このことを受け、大石田町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、「第7次大石田町総合振興計画」を受け、毎年策定する「大石田町の教育」（教育方針）に基づく重点施策の中から、「（コミュニティ・スクール関連を含む）学校教育関連施策9項目」、「生涯学習関連施策11項目」を対象としています。

## 3. 点検・評価の方法

点検・評価の方法は、学識経験者として学校運営協議会委員及び社会教育委員に意見をいただき、併せて、教育委員、事務局職員及び学校教職員による施策項目毎の5段階評価を行いました。

また、各項目の意見集約を行いました。

### 【参考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行う点検・評価については、法第26条第2項の規定に基づき「教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」とされています。今年度も昨年同様に、町内小中学校運営協議会委員及び社会教育委員の方から、点検・評価の内容について意見をいただきました。

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催

(1) 令和5年は、8回の教育委員会を開催しました。

- ① 第1回教育委員会 令和5年1月11日（水）  
議案第1号 大石田町立小学校統合事業基本構想・基本計画について
  
- ② 第2回教育委員会 令和5年2月15日（水）  
議案第2号 令和4年度大石田町教育委員会関係補正予算について  
議案第3号 令和5年度大石田町教育委員会関係当初予算について
  
- ③ 第3回教育委員会 令和5年3月8日（水）  
議案第4号 令和5年度県費負担教職員の人事異動の内申について  
議案第5号 令和5年度大石田町教育方針について  
議案第6号 大石田町学校給食費徴収に関する規則の制定について  
議案第7号 大石田町立歴史民俗資料館館長の任命について  
議案第8号 大石田町立図書館館長の任命について
  
- ④ 第4回教育委員会 令和5年5月17日（水）  
議案第9号 令和5年度大石田町教育委員会関係補正予算について  
議案第10号 大石田町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について  
議案第11号 大石田町立歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について  
議案第12号 大石田町立図書館協議会委員の任命について
  
- ⑤ 第5回教育委員会 令和5年8月1日（火）  
議案第13号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

- ⑥ 第6回教育委員会 令和5年8月24日（木）
  - 議案第14号 令和5年度大石田町教育委員会関係補正予算について
  - 議案第15号 大石田町教育施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について
  - 議案第16号 横山地区総合センター使用料条例の一部を改正する条例の制定について
  - 議案第17号 大石田町立大石田中学校屋外運動場夜間照明施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - 議案第18号 大石田町立大石田中学校屋外運動場夜間照明管理規則の一部を改正する規則の制定について
  - 議案第19号 令和5年度（令和4年度分）教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
  - 議案第20号 大石田町立図書館協議会委員の任命について
  
- ⑦ 第7回教育委員会 令和5年10月2日（月）
  - 指名第1号 大石田町教育委員会教育長職務代理者の指名について
  
- ⑧ 第8回教育委員会 令和5年11月22日（水）
  - 議案第21号 令和5年度大石田町教育委員会関係補正予算について
  - 議案第22号 大石田町立大石田中学校部活動支援に関する公用車使用及び補助金交付規程の一部を改正する規程の制定について
  - 議案第23号 大石田町立歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

## 2. 教育委員会会議以外の活動

- (1) 令和5年度学校訪問
  - 令和5年11月1日（水）大石田南小学校・大石田小学校
  - 令和5年11月2日（木）大石田北小学校・大石田中学校
  
- (2) その他協議会・研修活動
  - ① 令和5年6月5日（月）
    - 山形県市町村教育委員会協議会定期総会・施設見学会（山形市）
    - 定期総会・クリエイティブシティセンターQ1見学会

- ② 令和5年8月4日（金）  
山形県市町村教育委員会大会（新庄市）  
記念講演 共創する教育における「子どものエージェンシーと自己主導の学び」  
講 師 森のようちえんK a m u i K i d s 主宰者  
ラーワー・フレデリック 氏
- ③ 令和5年8月24日（木）  
北村山市町教育委員会協議会総会・研修会（大石田町）  
研修会 古代の水駅「野尻駅」と比定される「駒籠楯跡」について  
部活動地域移行情報交換会

### 3. 総合教育会議の開催

- (1) 令和5年度総合教育会議
- ① 第1回総合教育会議 令和6年1月19日（金）
- ・小学校統合整備事業について
  - ・町振興実施計画（教育分野）について
  - ・町の教育行政全般について

### Ⅲ 施策の体系

令和3年3月に策定された「第7次大石田町総合振興計画」における教育・文化分野の基本目標（6つの施策の柱）と基本方針等は次のとおりです。

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長を支え合う地域とともにある学校づくり、未来を切り開き生き抜く力の育成を重視した学校教育の充実、生涯にわたって心豊かに充実した生活を営むことができる生涯学習体制の整備、安らぎと喜びを与える文化芸術及び元気と感動を与えるスポーツの振興を図ります。次代を担う青少年の健全育成の推進や国内外との交流活動の推進に努め、豊かな心を育む教育・文化のまちづくりを進めます。

#### 1. 【基本目標】

「 豊かな心を育む教育・文化のまちづくり 」

#### 2. 【基本的な方針】

##### (1) 地域とともにある学校づくりの推進

誇り（ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を大切にする）と絆（学校・家庭・地域のふれあいと交流で活力に満ちる）と向上心（学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう）を育む教育を、学校・家庭・地域が一体となり推進します。

##### (2) 学校教育の充実

生き抜く力（学力・人間力・社会力）を身に付けた創造性豊かな児童生徒を育成するため、教育の情報化の推進など、教育内容の充実に努め、学校施設の整備等、総合的な教育環境の充実に努めます。

##### (3) 生涯学習体制の充実

子どもから高齢者まで、生涯にわたって心豊かに充実した生活を営むことができるよう多様な学習活動を支援し、誰もが学べる生涯学習環境の整備を推進します。

##### (4) 文化芸術・スポーツの振興

町民に安らぎと喜びを与える文化芸術及び元気と感動を与えるスポーツについて、町民のニーズを把握し、既存施設の有効活用や各種団体への支援を通して活性を図り、町民の主体的な活動の促進に努めます。

##### (5) 青少年の健全育成の推進

青少年が健全に育成されるよう、学校・家庭・地域・行政が一体となった町ぐるみの支援体制を確立し、健全な社会環境づくりに向けた活動を推進します。

##### (6) 国内外との交流活動の推進

グローバル化への対応やグローバルな視点で地域の良さや課題を発見するため、国際交流活動、地域間交流活動を促進します。

### 3. 【施策の展開方向】

#### (1) 地域とともにある学校づくりの推進

##### ア 地域学校協働活動の積極的推進

- 学校経営に対する地域住民や各種企業・団体等の参画を組織的に進め、未来を担う子供たちの成長を支え合う地域学校協働活動の取り組みを推進します。
- コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的推進により、新たな価値を生み出す社会に開かれた教育活動を推進し、多様で良質な学びの機会を保障します。
- 行政を含めた教育・福祉・保健等関係機関の連携をもとにして、家庭教育に関するきめ細かな支援と相談機能の充実を図ります。

##### イ 「引・伸・灯」教育の推進

- 「可能性を引き出し、良さを伸ばし、心に灯をつける」という視点を常に意識して、子どもからお年寄りまで、あらゆる年代に応じた教育活動を展開し、一人ひとりを大切にする教育活動を推進します。
- 地域共生・地域貢献を念頭におき、「誇り（ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を大切にする）」と「絆（学校・家庭・地域のふれあいと交流で活力に満ちる）」と「向上心（学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう）」を育む教育を推進します。

##### ウ 開かれた信頼される学校づくり

- 学校施設の地域への開放をはじめ、児童生徒や教職員の地域社会との交流、家庭や地域の声を反映した学校運営の推進を通して、開かれた信頼される学校づくりを進めます。
- 学校と地域の双方向の発信を通じた連携協働により、地域の特性を活かした魅力ある学校づくり、生きがいのある元気な地域づくりを進めます。

#### (2) 学校教育の充実

##### ア 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実

- 学力（まなぶ力）の向上を支える基礎的な知識と技能及び思考力・判断力・表現力を育成するため、読解力の向上を図り、主体的・協働的に取り組む探究型学習を促進します。
- 人間力（やりぬく力）の土台となる、考え抜く姿勢、困難を乗り越えようとする強い意志、健やかな体力を育成するため、学習方法の工夫、特別活動や学校行事への主体的な参画、体力・運動能力の向



上及び健康教育の充実に努めます。

- 社会力（つながる力）の育成に向け、人との関わりや体験活動を重視し、道徳教育や人権教育、福祉教育等の充実を図り、規範意識及び人間関係を構築する力を高めます。

## イ 社会の変化に対応する教育の推進

- 情報活用能力（ICT）や外国語能力（国際化）を伸ばす教育環境を整備・活用し、未来を切り開く力の基礎作りを行います。
- 専門性の高い高等学校・大学の教育力や、各種分野における一流講師の積極的な活用を通して、学びが好きになる学校づくりを推進します。

## ウ 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備

- 教育環境の充実を図るため、児童生徒数の減少を見据えた小学校の統合計画を作成し、小中9年間の子どもの育ちを支える小中一貫教育を推進します。
- 小学校の統合に向けた準備及び中学校への円滑な接続を図るため、3つの小学校の同学年同士と一緒に学ぶ機会を定期的を実施し、スムーズな統合へと繋げていきます。

## エ 多様なニーズに対応した教育機会の提供

- 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の実情を考慮し、学校における特別支援教育の充実を図るとともに、個に応じた適切な就学相談・指導に努めます。
- いじめや不登校などの心の問題に対し、心の教室相談員を中学校に配置して、小学校も含めた形で相談・指導の充実を図ります。
- 経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助を展開します。

## オ 安全対策・通学対策の推進

- 施設・設備の定期的な安全点検を通して各学校との連携を強化し、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう努めます。
- スクールガードリーダーの配置や関係団体による見守り活動の促進等により、登下校時の児童生徒の安全対策の強化を図ります。
- 遠隔地の児童生徒が安全・安心に通学できるよう、スクールバスの運行の維持・充実を図ります。

## カ 学校給食の従実

- 学校給食センターの適正な管理・運営を図るとともに、地産地消や

食育の視点に立った取り組みを進めます。

- 安全・安心な米飯を学校給食に提供するため、山形連携中枢都市圏連携事業における広域炊飯施設との連携を進めます。

### **(3) 生涯学習体制の充実**

#### **ア 生涯学習施設「町民交流センター（虹のプラザ）」の積極的活用**

- 生涯学習推進の拠点となる虹のプラザについて、誰もが使いやすく学びやすい環境づくりに努め、積極的な利用の促進に努めます。
- 地域課題の解決に向けた学習の機会及び実践の場を提供し、活力あるコミュニティの形成を支援します。

#### **イ 生涯学習情報の提供と図書館の充実**

- 子どもから高齢者まで、幅広い年齢の多様な学習活動を支援するとともに、利用者のニーズや社会情勢に沿った学習情報の提供に努めます。
- 利用しやすい図書館づくりを進めるとともに、幅広い世代の交流機会の拡大を目指し、適時性を伴った魅力ある企画展示やイベントを充実させます。

#### **ウ 生涯学習事業の推進**

- 常に各世代の学習ニーズの的確な把握に努め、幼児・児童・生徒・青少年・成人・高齢者の各世代に応じた生涯学習活動を企画・推進します。
- 公民館分館においては、中央公民館との連携を密にしながら、地域住民との協働による生涯学習活動の充実を図ります。
- 事業推進にあたっては、町ホームページや広報紙、各種関連施設への掲示等、多様な情報提供の場を活用し、町民への周知と参加意欲の向上を図ります。

#### **エ 各種団体等の活動支援と指導者の育成**

- 各種社会教育団体、学習団体及びグループ等の育成・発展に努め、自発的な学習活動を引き出し支援することによって、学び続ける風土を育てます。
- 様々な分野における生涯学習の指導者やボランティア等の育成・確保に努め、町民のニーズに応える学習団体が継続・発展するよう努めます。

## オ 学習成果の活用

- 町民の学習活動を支援し、その成果を発表する場及び活用する場を確保することにより、学び続けることの意欲を高めます。
- 町民の学習成果を共有することにより、生涯学習社会を実現し、人づくり及びまちづくりに役立てます。

## (4) 文化芸術・スポーツの振興

### ア 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興

- 地域の歴史・文化の継承と個性あふれる文化の創造に向け、町民主体の芸術文化活動を一層推進します。
- 文化や芸術を振興するための指導者やボランティアの育成・確保、より質の高い芸術に触れる機会の充実を通して「町民一人1芸術文化活動」を促進し、活性化を図ります。
- 歴史民俗資料館の整備・運営の充実を図り、啓発活動や講座、展示、情報発信を通して町内外の人々の意識の向上に努めます。
- 指定文化財の適正な保存・保護に努めるとともに、駒籠楯跡等の埋蔵文化財についても計画的に調査を進めます。

### イ 元気と感動を与えるスポーツの普及推進

- すべての町民がそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を行えるよう町民ニーズの把握に努め、誰もが参加できるスポーツ活動の場の提供と充実を図ります。
- ライフスタイルに合ったスポーツ・レクリエーションのあり方、スポーツの必要性・重要性に関する啓発活動等を通して「町民一人1スポーツ」を普及推進していきます。
- スポーツ協会をはじめ、各種スポーツ団体の育成・支援に努めるとともに、地域と一体となった指導者やボランティアの育成・確保に努め、スポーツ活動の活性化を促進します。
- 各種競技団体との連携を通して競技スポーツの強化を図るとともに、東北・全国・世界大会に出場する選手への支援や顕彰を行い、優秀な選手の育成に努めます。

### ウ 主体的な活動を促進する組織体制の確立

- 芸術文化を愛する各種団体等が生きがいを持って主体的に活動できるよう、町芸術文化協会の組織の活性化に向けた支援に努めます。
- 「いつでも・どこでも・だれでも」、スポーツ活動を通じた仲間づくり・体力づくりができるよう、「大石田スポーツクラブ」の組織体制の強化と活動の活性化を図ります。

## (5) 青少年の健全育成の推進

### ア 青少年健全育成活動の充実

- 「青少年育成町民会議」及び「青少年育成推進委員会」の活性化を図るとともに、青少年の健全育成に取り組む団体等を育成・支援しながら、学校・家庭・地域・行政が一体となったネットワークづくりを進めます。
- 健全な社会環境をつくるために、関係団体を中心とした非行防止や有害図書浄化等に関する活動、地域における声かけ運動やあいさつ運動を進めます。

### イ 家庭・地域の教育機能の向上

- 家庭教育に関する講座・教室等の開催をはじめ、広報・啓発活動や相談・情報提供等の活動を通して、家庭における教育機能の向上を図ります。
- 地域の教育力を活かした活動の発掘・支援に努め、地域における教育機能の向上を図ります。

### ウ 青少年団体の育成と体験・交流活動への参画促進

- 子ども会、青少年団体等の育成・支援に努め、講座や各種教室の開催等を通して各団体のリーダーの育成を図ります。
- 青少年にとって魅力ある体験・交流活動を充実させ、地域活動及びボランティア活動への積極的な参画を促進します。

## (6) 国内外との交流活動の推進

### ア 地域間交流の促進

- 友好協定を締結している宮城県涌谷町とは、当町の豊かな自然環境や農業資源及び宿泊施設等の特性・資源を活かしながら、行政と関係団体と町民が一体となった交流活動を展開します。
- 県内に限らず、東北・全国に視野を広げ、学校教育及び生涯学習の場においても交流の糸口を探り、地域の活性化につなげていきます。

### イ 国際感覚豊かな人材の育成

- 外国語の必修化等に伴い、国際理解教育専門員の積極的活用により、学校教育における外国語教育や外国語講座、国際理解を深める事業の充実を図ります。
- 国際交流活動の中心となる民間団体やリーダーの発掘・育成、国や県等の国際交流事業の情報提供等を行うことにより、町民の国際化への意識を高めるとともに、国際ボランティア活動への参加等、国

際協力活動の促進に努めます。

- 小中学生及び青少年の異文化交流事業を推進し、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。

#### ウ 国際化に対応したまちづくり

- 外国人が住みやすく、訪れやすい環境づくりに向け、多言語版のパンフレット等の作成及び外国語観光案内人の育成等について検討を進めます。
- 大石田を訪れるまたは定住する外国人に対して、役場窓口や観光関連施設における分かりやすい対応を充実していきます。

## Ⅳ 点検・評価事業と評価方法

点検・評価項目は、令和5年度大石田町教育方針「評価シート」により「A. 地域とともにある学校づくりの推進」、「B. 学校教育の充実」、「C. 生涯学習体制の充実」、「D. 文化芸術・スポーツの振興」、「E. 青少年の健全育成と国内外との交流活動の推進」の分野ごとに5段階評価を行いました。

併せて、「特に良かった点」、「改善を要する点」について記述式により意見を聴取しました。

また、生涯学習分野では、さらに社会教育委員等から具体的事業について意見を聴取しました。

評価結果は、令和5年度大石田町教育方針「評価シート」集計表のとおりであります。

## Ⅴ 意見の集約

### 1. 教育方針評価（特に良かった点・改善を要する点）

#### （A）地域とともにある学校づくりの推進

##### [1. 地域学校協働活動の積極的推進]

##### （特に良かった点）

- ・サンサンスタディで町内の小学生が同じ内容を学び体験することが定着した。
  - ・ふるさとの未来を作る人づくりにつながる学習が保障されている。といったサンサンスタディの取り組みを評価する意見がありました。
  - ・子どもたちと地域の人に関わる活動、場面が増えてきたと思う。協働本部が良く機能していると思う。
  - ・学校運営協議会の方が学校教育に協力してくださり、スムーズな学校経営ができています。地域学校協働本部の方が多方面にわたり協力して下さることで子どもたちの活動が充実した。
- など、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部への評価もいただきました。
- ・大石田ならではの活動を十分に児童に体験させることができた。
  - ・多方面の活動が数多く実施されていて素晴らしい。
  - ・統括地域学校協働活動推進員より支援をいただき、充実した活動を展開することができた。子どもたちもいきいきと活動できていた。
  - ・地域の関りが年々増えている。といった意見がありました。

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的推進に取り組んでいますが、サンサンスタディの実施により、この取り組みが定着してきた

と考えられます。

#### **(改善を要する点)**

- ・コミュニティ・スクールの進捗状況がよく分からない。
  - ・事業の地域住民への周知・理解不足。といった意見がありました。
  - ・各学校に配置されている地域学校協働活動推進員との連絡・情報の共有が改善を要する。より組織的な活動にする必要がある。
- といった意見もありました。これらについては、今後の課題として改善していく必要があると考えられます。

## **[2. 「引・伸・灯」教育の推進]**

#### **(特に良かった点)**

- ・少人数だからこそ、一人一人に時間をかけて指導できた。
  - ・児童の主体性を大切に、活動を行うことができた。
  - ・授業や生徒会活動などで、全体的に生徒主体の活動が実践されてきている。
  - ・子どもサミットのように子どもたちの主体的な取り組みの具現化に向けて支援できた。
  - ・制限のない中での学校行事が行われ、改めて一人一人の努力を讃えたり可能性を信じることの大切さを教職員が実感し、日常の教育活動を進めていると感じる。
- といった意見をいただきました。
- ・自己決定の場を大切にしながら、子どもたち自身で学校を創っていくように努めた。
  - ・様々な活動を企画することを通して、自ら課題を見つけ解決しようとする子どもになってきている。
  - ・特別活動を通して進んで考える力や自力解決する力を高められたと思う。
  - ・年間を通した子ども主体の教育活動が展開されてきたと感じる。
  - ・自由清掃の取り組みでは率先して行動する姿勢を感じる。
- といった評価をいただきました。
- ・キッズタウンでは町内の様々な業種の方と関わり楽しみながらたくさんの経験ができたと思う。
  - ・児童生徒の第三の居場所となれるような事業を行えた（長期休暇にあわせた企画など）。
- といった感想も寄せられました。

#### **(改善を要する点)**

- ・子どもたちのその時々のお気持ちによっては「させる」指導になることがあった。

- ・自身の反省として「させる」指導から抜けきれていない部分がある。
- ・勉強に苦手意識がある子どもに対してやる気を上手く引き出せなかった。といった意見がありました。
- ・いつでも活動に前向きに取り組めるように子ども・家庭とのコミュニケーションを続けていきたい。
- ・「担任力」の向上が急務の課題と感じる。
- ・支える生徒指導に対するさらなる意識改革と研修の推進が必要。
- ・素晴らしい方針なので子どもが自ら考える子育ての推進を応援したい。といった今後の課題に対する意見もありました。

### [ 3. 開かれた信頼される学校づくり ]

#### **(特に良かった点)**

- ・学校の教育活動に好意的で協力的な地域で、ありがたい。
  - ・総合学習の体験学習で町の良さを実感できた。
  - ・サンスタディの取り組みがよい。地域を知る、地域に還元する教育を統合後も大事にしたい。
  - ・地域人材活用に取り組んだ際、ある方が生きがいになったと話していたことが印象的であった。
- といった感想が寄せられました。
- ・コロナ5類移行に伴い、学校行事等では人数制限を設けず積極的に学校を開いている。
  - ・保護者や地域の声に耳を傾けて教育活動を進めている。
- といった意見もありました。
- ・学校だよりの内容を吟味し工夫して発行している。
  - ・学校だよりでなく、実際に地域の方と話をする機会を捉え交流できている。
  - ・学校通信や学年通信、学級通信等で生徒の活躍を発信することができた。
  - ・子どもたちの活躍している様子を知ることができるのがとても良い。
- といった学校だよりに対する評価をいただきました。

#### **(改善を要する点)**

- ・地域や町の取り組みに積極的に参加できるようになればと思う。
  - ・カリキュラムマネジメントを行い、できるだけ多くの生徒が地域の方との交流ができるようにしたい。
  - ・コロナ過で縮小した地域との交流の部分をすぐに取り返すことは難しい。
  - ・地域学校協働本部の事業や社会教育関係事業への参加や協力体制に学校によって温度差がみられた。
- といった意見がありました。
- ・町外の方にはホームページ等での発信が必要だと思う。学校で開設でき



ないとすれば町のホームページで学校の教育活動を発信できると良い。  
・学校だよりが回覧板になって詳しく読めない。学校だよりは従前の各戸配付の方が子どもたちの活躍・姿が地域により伝わりやすいと感じる。  
といった意見もありました。

## **(B) 学校教育の充実**

### **[1. 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実]**

#### **(特に良かった点)**

- ・児童の主体性が伸びるように気を付けて授業を行うことができた。
- ・授業ごとに目指す子どもの姿を考え近づくための支援をすることができた。
- ・校内研究で特別活動を柱としたことで児童一人一人の成長が見られた。
- ・育成したい資質能力を共有しながら学校行事等を実施することができた。  
といった感想がありました。
- ・特別活動の推進を校内研究の核として取り組み、子どもたちの自治力を育成してきた。互いの考えを尊重しながら話し合いができるようになり、各教科での協働的な学びにも大きく影響を与えている。
- ・研究の軸である「合意形成」をテーマに、各教科で対話的な実践が行われている。自分の考えをしっかりと表現できる生徒が増えたように感じる。

このような感想もありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・町の子どもたちの学力の実態を広く関係者に知らせ、これまでの成果や課題を明確にすることを大切にしたい。
- ・特活で各学級の学習への土壌や風土は培った。今度は知識技能や思考判断表現獲得のためにそれを土台にした各教科の学習指導の在り方を考えていく必要がある。
- ・目指す子どもの姿や授業像を明らかにし、より授業改善を進めたい。
- ・ねらいの明確化、子どもに寄り添い、「させる教育から支える教育」への指導観の転換が必要。
- ・学んだことを真摯に受け止め、授業改善を図ろうとする教員の意識に格差がある。子どもに大きく関わることであり、何か対策を考えているところである。

といった意見がありました。

### **[2. 社会の変化に対応する教育の推進]**

#### **(特に良かった点)**

- ・タブレットを用いた学習は日常化しており、子どもたちの情報活用力は素晴らしいものがある。

- ・タブレット端末の活用や、電子黒板設置などにより、ICTを子どもたちが使いこなし、先生方の力量もかなり上がってきている。
- ・デジタル教科書を活用して音声の時間を充実させたり、スモールトークなどで会話をたくさん見せたりなどして、豊かなインプットを行えた。
- ・ICTの活用について職員室で話題になることが増え、教師間で情報交換ができていくように感じる。

など、ICTの活用に関する評価をいただきました。

- ・外国語教育においては、国際理解教育専門員との授業により児童が外国語活動に意欲的になっている。
- ・国際理解教育専門員の定期的な配置がありがたい。国際理解教育専門員と協力して学習を進めることができた。

といった意見がありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・子どもたちがタブレットを見る時間が、家庭のメディアと合わせると長くなってしまうことが懸念される。メディアコントロールと組み合わせて使用時間の調整が必要ではないか。
- ・ICT教育は担任の力量や関心に左右されるところが大きい。
- ・ICTを取り巻く情勢は日々進化し続けるため、子どもたちへの情報活用能力の向上につながるサポートをできるよう、教職員や関係機関の職員の研修機会を増やしてほしい。
- ・ハード面で機材を普通に使えないときがあるため、ネット環境の整備が必要。
- ・タブレットの活用について、計画的に約束を確認したりその危険性などを学習する機会を設ける。学校と家庭が連携した端末の使用モラルの育成が必要である。

といった課題も挙げられました。

### **[3. 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備]**

#### **(特に良かった点)**

- ・顔の見える交流機会が多く設けられ、成果を定期的に虹のプラザ内で掲示し目に見える形で示され、町内のサンスタディの周知にもつながっていると思う。

また、サンスタディについては、次のような意見がありました。

- ・同じ学年の教員同士、児童同士交流を図ることができた。教員同士では、授業の進め方などの情報交換もすることができた。児童同士では、他校の児童と友だちになる様子も見られ、いい交流が行えたと思う。
- ・町内各地の良さを、体験を通して学ぶ機会は素晴らしい。町内各学年の子どもたちが仲が良いのが、その積み重ねの証だと思う。3小学校一貫

した学力をつけるという取り組みは大切だと思う。

- ・サンスタディ教科版は授業力の向上につながる。
- ・サンスタディ教科版では、昨年度よりも指導案検討が充実して行えた。自然の家で仲良くなった他校の子どもたちと教科版においてもグループで協働する姿が見られた。

といった感想が寄せられました。

#### **(改善を要する点)**

- ・授業者一人の負担が大きい。
- ・各校の活動行事がある中での実施なので、担任が忙しくなってしまう。
- ・3校合同での宿泊体験と修学旅行は、5・6年生が複式になっている中で3校での調整や活動を一人の担任が行うことに負担がある。

といった教職員の負担増に関する意見がありました。

- ・先生方の連携を密にするための時間を確保していきたい。
- ・子どもたちの交流については進んでいるので、さらにねらいを加えながら充実した学びとしたい。
- ・子どもたちの意欲を喚起するような事前指導をし、担任も子どもも主体的な取り組みになるようにしていきたい。

という意見もありました。

- ・統合は、絶対にしなければならない大切なことだが、各学校の文化や指導方法が子どもたちの弊害にならないように気を付けなければいけない。

という意見もありました。

#### **[4. 多様なニーズに対応した教育機会の提供]**

##### **(特に良かった点)**

- ・関係機関と面談や日々のコミュニケーションを通して連携できた。
- ・個別支援学級の担任とサポーターの連携が良かった。
- ・町のスクールソーシャルワーク・コーディネーターやスクールカウンセラーと連携できた。
- ・保護者の相談等もすぐに連携して対応できた。

など、様々な立場の方と連携が図られていることが評価されました。

- ・子どもたちの様々な家庭環境に専門的な立場から助言をいただけたことで安心感が持てた。
- ・学校での問題や悩み等に丁寧に寄り添っていただきありがたい。定期的な特別支援教育専門員の訪問指導があり、個別の支援を必要とする子どもを抱える担任にとって非常に心強かった。
- ・保護者面談でスクールソーシャルワーク・コーディネーターに入っていたいただき話し合いを進めることができありがたかった。

・相談員の先生の関わりや対応がきめ細かく効果的だ。  
といった各専門の相談員の方々との関りについての意見もありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・不登校気味の子どもたちが全国的に増えていると聞くので、大石田町ならではの対策や対応をアピールしたい。
  - ・校内において特別支援教育を専門にする教員が必要である。
  - ・個々の生徒もニーズが多岐にわたっており、対応する職員の数が圧倒的に不足している。
- といった意見が寄せられました。

### **[ 5. 安全対策・通学路対策の推進 ]**

#### **(特に良かった点)**

- ・月一回の安全点検を確実に実施できた。
  - ・校門前の桜の伐採や体育館扉の修理等、子どもたちの安全に関わる面での対応がありがたかった。
  - ・安全対策や施設設備面ですぐに対応してくださり助かっている。
- といった感想をいただきました。
- ・スクールガードリーダーの取り組みがありがたい。
  - ・毎朝小中学生の登校時に横断歩道に立ってくださる皆さんに感謝します。
  - ・スクールガードの皆さんが引率や定期的に見守りをしていただき事故なく登下校することができた。
  - ・事故や事件に巻き込まれることがなく過ごせ、皆さんから見守られていることに感謝します。
- など、子どもたちの見守り活動に関する感謝の声がありました。
- ・各学年の時程に細かく合わせてくださるのが非常に助かる。
  - ・柔軟に対応していただいている。
- など、スクールバスの運行についても評価をいただきました。

#### **(改善を要する点)**

- ・毎月の安全点検のみならず、日々の状況で破損等困った状況に陥ることがあるので、学校から報告があった場合、できるだけ早めに見に来てほしい。
  - ・夏の猛暑でグラウンドの草刈が大変困難であった。畑地に囲まれており除草剤が使えないので支援いただきたい。
  - ・災害、特に大きな地震発生時のマニュアル等の確認や避難体制について改めて確認したい。
  - ・スクールバスを購入する際は、安全第一で四駆にしてほしい。
- といった意見が寄せられました。

## [6. 学校給食の充実]

### (特に良かった点)

- ・栄養教諭を中心に、食育指導や放送など丁寧に相談にのっていただいた。
- ・工夫された献立作成になっている。また四季に合わせた多彩な食材が使われておりおいしい給食だと思う。ブックランチ等給食を通して読書への関心も喚起するような企画が素晴らしい。
- ・年度途中のアレルギー対応にも丁寧に対応いただいた。
- ・栄養バランス良く、また季節ごとにあった献立や一言メモなどとても意味深さを感じありがたくいただくことができる。
- ・専門委員会の活動で、旬の食材ポスターを作成したり放送で紹介したりしていたことで、食への関心が高まりつつあるように感じる。
- ・山形県産の食事の機会が多く、山形の良さも実感できる給食だった。
- ・食育指導やバイキング給食などで、子どもたちの食への関心を高められた。

このような意見が多く、学校給食に対しては高い評価をいただきました。

### (改善を要する点)

- ・学校の業務が多岐にわたり多忙になってきているので、食育は学校教育から省いた方がいいと思う。
  - ・これまで以上の地元生産物の使用の促進。
  - ・ブックランチのメニューを中学校で選定するのはなかなか難しい。
- といった意見が寄せられました。

## (C) 生涯学習体制の充実

### [1. 生涯学習施設（虹のプラザ）の積極的活用]

#### (特に良かった点)

- ・コロナ過とは違い活用が頻繁に行われていて素晴らしいと感じる。
  - ・図書館の2階の勉強スペースは、明るくて静かな環境でとても活用しやすい。
  - ・歩いて行ける距離にある施設で様々なイベントを行えるのはありがたい。
- といった意見がありました。
- ・行事等で虹のプラザで鑑賞や発表会を行い、文化芸術の素晴らしさや施設の良さに子どもたちは触れられた。魅力的な企画が多かった。
  - ・児童生徒の作品展示の機会も多く、学校教育関係の掲示も充実していた。
  - ・コロナ禍以降なかなか開催できなかったイベントや企画を開催できた。新しい取り組みも見られ、町民が虹のプラザに足を運ぶきっかけとなった。
  - ・生徒たちが積極的に活用している。
- という意見も頂きました。

### **(改善を要する点)**

- ・虹のプラザをもっと活用していただきたい。
  - ・年配の人は虹のプラザに行く足がない。
  - ・中学校の部活の形態が変わるので、空いている部屋を学習室として開放してもらうことはできないか。
  - ・虹のプラザや町に対しての意見箱の設置はどうか。
- といった意見や要望がありました。

## **[ 2. 生涯学習情報の提供と図書館の充実]**

### **(特に良かった点)**

- ・開放的なエントランスを使用したイベントで、誰でも気軽に楽しめる機会を提供できた。
  - ・常に新しい企画をしている。
- といった意見がありました。
- ・学校図書館との連携がありがたい。
  - ・図書館に書籍の問い合わせをすると、すぐに準備してくれた。町の図書館にない場合、他市町村の図書館から貸し出してもらいありがたかった。
  - ・今年度初めて自主企画公演演劇との連携企画も実施し、町民が図書館に関心を向けるきっかけとなった。
  - ・季節や世相を反映したコーナーの設置、研修等の企画運営が良かった。
- といった評価をいただきました。

### **(改善を要する点)**

- ・週刊誌等の入荷の遅れがある。
  - ・年配の人は虹のプラザに行く足がない。
  - ・イベントを通じた図書館利用へのつなぎ方をもっと工夫する必要がある。
  - ・ICTを活用したサービス提供をより拡充させる必要がある。
  - ・団体利用の際に、町のバスを出していただけないか。
  - ・小中学生に、図書館の楽しさ、便利さをもっと伝えてほしい。
- といった意見や要望がありました。

## **[ 3. 生涯学習事業の推進]**

### **(特に良かった点)**

- ・子どもの活躍を写真で紹介しているところが良い。
  - ・児童向けの活動も多くあり、内容も充実していた。
  - ・町民大学等、講座がいろいろな角度から町の特徴に焦点をあてアプローチできていると感じる。
  - ・虹のプラザの玄関の掲示板を見ると、多様な活動がなされている。
- といった評価をいただきました。

- ・ラインでのこまめな情報提供がありがたく分かりやすい。
- ・学校関係も広報でたくさん取り上げてくださり、地域に開かれた学校の大きな助けとなっている。
- ・広報紙は写真が多く児童も掲載される機会が多いので楽しく読ませていただいている。

などの感想も寄せられました。

#### **(改善を要する点)**

- ・生涯学習事業については、中学生もゆとりがあれば参加できると思う、という意見がありました。
- ・公民館について、中央公民館と分館との連携がもっとあれば良い。
- ・各分館との連携は難しい
- ・世帯数の減少、若年層の減少などで、分館単位での活動や運営が難しいと感じる。

という意見もありました。

### **[4. 各種団体の活動支援と指導者の育成]**

#### **(特に良かった点)**

- ・スキー学習の外部講師制度が良かった。
- ・トムソーヤの冒険などのイベントで、地域の指導者の方々と交流する機会があり、子どもたちも楽しくふるさとと関わる活動ができている。
- ・部活動指導員の先生方には感謝している。

といった評価をいただきました。

#### **(改善を要する点)**

- ・文化活動面での指導者が欲しい。
- ・学習団体の育成、指導者の育成はどうしているのか。若手の指導者を育成、現在がんばっている指導者の支援をお願いしたい。

といった要望や課題が寄せられました。

### **[5. 学習成果の活用]**

#### **(特に良かった点)**

- ・大石田かるた大会は子どもたちが地域の人々との交流ができ、かるたを通して大石田町の良さを再認識できるととても良い機会だと思う。
- ・図書館として、学習のための調査相談に専任司書一人の時よりも幅広く対応できた。
- ・様々な街の催し物に中学生が参加できたことが良かった。
- ・発表の場として、なないろホールを有効に活用している。

といった感想がありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・年配の人の虹のプラザに行く足の確保が必要。
  - ・町民集会への生徒の参加について、学習発表の場としては有効だが、発表に向けた練習や準備が負担である。
- などの意見がありました。

## (D) 文化芸術・スポーツの振興

### [1. 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興]

#### (特に良かった点)

- ・芸術文化担当職員が、各団体関係者と良好な関係を作り、きめ細やかなサポートを行い円滑な事業実施につながっていたと感じる。
  - ・職場体験などで、鰻絵などの文化に触れることができた。
  - ・地域おこし協力隊の様々な芸術文化活動が大石田で行われ、興味深い。
  - ・三大神輿は大いに盛り上がり、若者の町への関心を高めてくれたと感じる。
  - ・町民大学で駒籠楯跡について取り上げてもらい広く町の宝であることをアピールできたと思う。
- といった評価をいただきました。

#### (改善を要する点)

- ・少子化が進む中、郷土愛や仲間意識を高める成人神輿を、どう運営していくか。
  - ・様々な地域の遺産をしっかりと調べたり、ガイドをしてもらえたりすると、生徒にとってとても得難い体験になると思う。
  - ・スポ少は盛んだが、文化面の活動がない。書道教室、ピアノ教室はあるが、絵画教室などはない。指導者の育成（協力）をお願いしたい。
  - ・資料館で良い企画をしているが、入館者を増やすアイデアはないのか。
- このような意見をいただきました。

### [2. 元気と感動を与えるスポーツの普及推進]

#### (特に良かった点)

- ・今年も多くの選手が活躍しうれしく思う。上位大会まで行かなくとも、新しい競技に挑戦したり、学業とスポーツを両立させたり、地区対抗野球大会に楽しく参加する学生や若者も多いことが喜ばしい。
- ・県外等で活躍する方々と交流する機会もあり、子どもたちの意識も高まると感じる。
- ・中学生のスポーツ活動での活躍が素晴らしい。
- ・部活動の大会参加に係る補助が北村山地区の中では一番手厚いと思う。
- ・コロナ禍に実施できなかったスポーツイベントの実施ができ、町民がスポーツに関心を向けるきっかけとなった。



- ・柔道スポ少は若い指導者が多く参加しており、尾花沢からも来ている。素晴らしい。若い指導者が自分の居場所としているのかなと思う。といった評価をいただきました。

#### **(改善を要する点)**

- ・冬場などの足の確保が必要である。
- ・スポーツクラブやスポーツイベントを通して、町民のスポーツの普及、推進を取り組めたが、まだまだ参加していない町民が多いため、少しでも増えるようにいろいろなイベントなどに取り組みたい。
- ・広報不足な感じがする。もっと広くパンフレットを置いてもいいと思う。といった意見や要望がありました。

### **[ 3. 主体的な活動を促進する組織体制の確立]**

#### **(特に良かった点)**

- ・部活動地域移行に向けた会議が開催された。
- ・部活動を中心にスポーツに関わる機会がある。スポーツクラスマッチなどでの交流が良かった。
- ・大石田AIRとの連携で新しいスポーツクラブの立ち上げを企画できた。
- ・ダンス、ヨガなど他市町村からも来ている。といった感想や意見がありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・部活動地域移行、スポーツ少年団など、地域の実態に合わせた検討を引き続き行っていくことが必要である。
- ・虹のプラザのホームページを活用したスポーツクラブの周知を拡大してほしい。
- ・パンフレットで様々なスポーツを知ることができるが、パンフレットがあることすら知らない人もいるのが残念である。
- ・参加してみたいと思うが、夜の家事や子守り等でなかなか家から出られない。子連れでも行けるとうれしい。といった課題や要望が寄せられました。

## **(E) 青少年の健全育成と国内外との交流活動の推進**

### **[ 1. 青少年健全育成活動の充実]**

#### **(特に良かった点)**

- ・青少年育成町民会議の子どもたちの発表が年々素晴らしくなっている。大石田かるたの活用も広く行き渡っていると思う。
- ・子どもサミットでの報告会の様子は良かった。
- ・地区民の方々が、あいさつや声かけを積極的に行っている。
- ・北小、南小学区が特に地域の方との日常的な挨拶ができていると思う。

- ・大石田町の子どもたちは、どこで会ってもみんなきちんとあいさつしてくれる。

といった評価や感想をいただきました。

#### **(改善を要する点)**

- ・町民集会について、発表の場があるというのは素晴らしいが、あの場に行く生徒、教師にとっては休日に行くことになる。
- ・東桜学館中学校出身者がいることも踏まえた、二十歳のつどいの内容の検討が必要である。
- ・町民集会での表彰の仕方などの簡略化と時間短縮。
- ・家庭でのあいさつがない。

といった課題が寄せられました。

### [2. 家庭・地域の教育機能の向上]

#### **(特に良かった点)**

- ・令和元年度以来久しぶりにに幼児共育ふれあい広場としての「親と子のつどい」を開催でき、良かった。
- ・学童保育が良かった。

といった感想がありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・この活動をよく知らない私のような人もいるので、広報にも少し力を入れてはどうか。
- ・家庭生活が十分に機能するような手立てが必要。

といった意見がありました。

### [3. 青少年団体の育成と体験・交流活動への参加促進]

#### **(特に良かった点)**

- ・ふれあいマラソンなどで二十四孝PARTⅡの活動が行われていた。
- ・高校生ボランティアサークル活動の充実。
- ・生徒たちも意欲的に参加しようとする姿勢がある。
- ・青少年健全育成町民集会への中学生の参加が良かった。

といった感想がありました。

#### **(改善を要する点)**

- ・少子化の中、各地区の子ども会の活動をどう運営していくか。
- ・中高生向けの活動支援の機会が少なかった。
- ・直接関係ないが、ここ数年町中にゴミを捨てる人が増えた感じがする。町をきれいにするボランティア活動と合わせ、ゴミのない町の啓蒙があっても良い気がする。

といった課題が挙げられました。